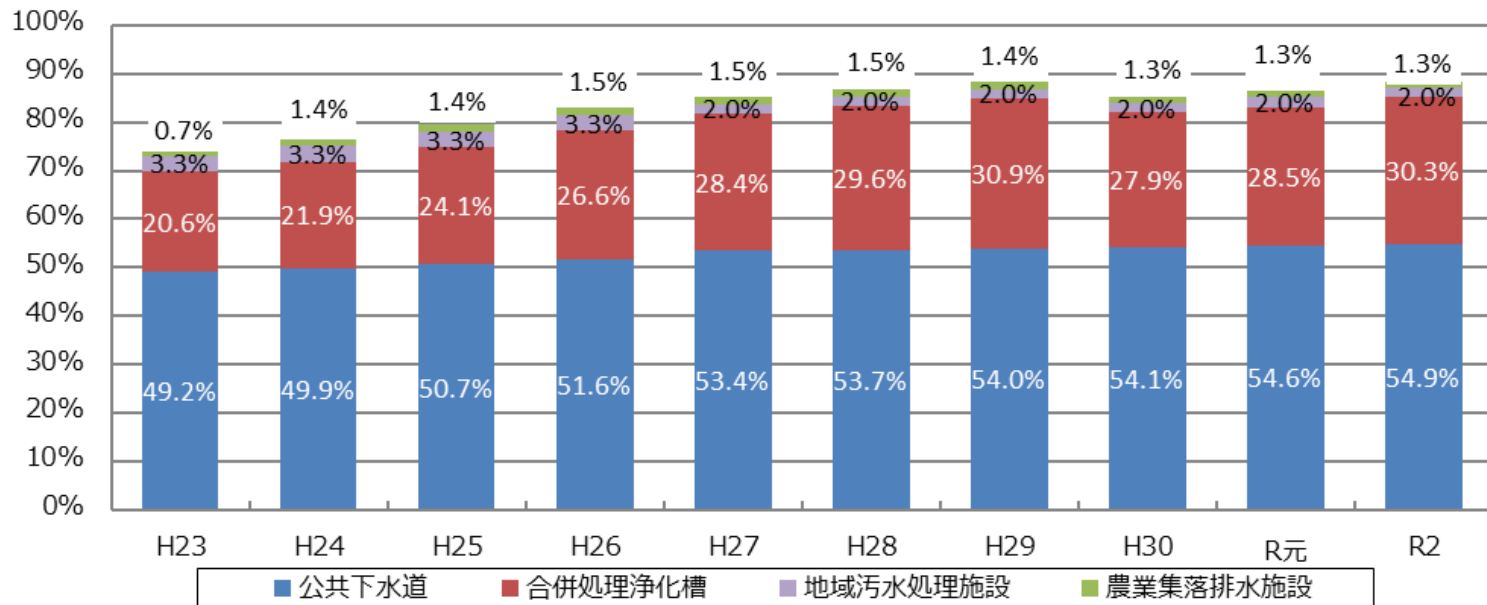
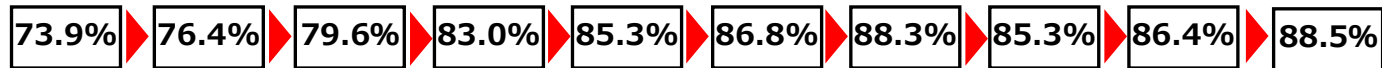
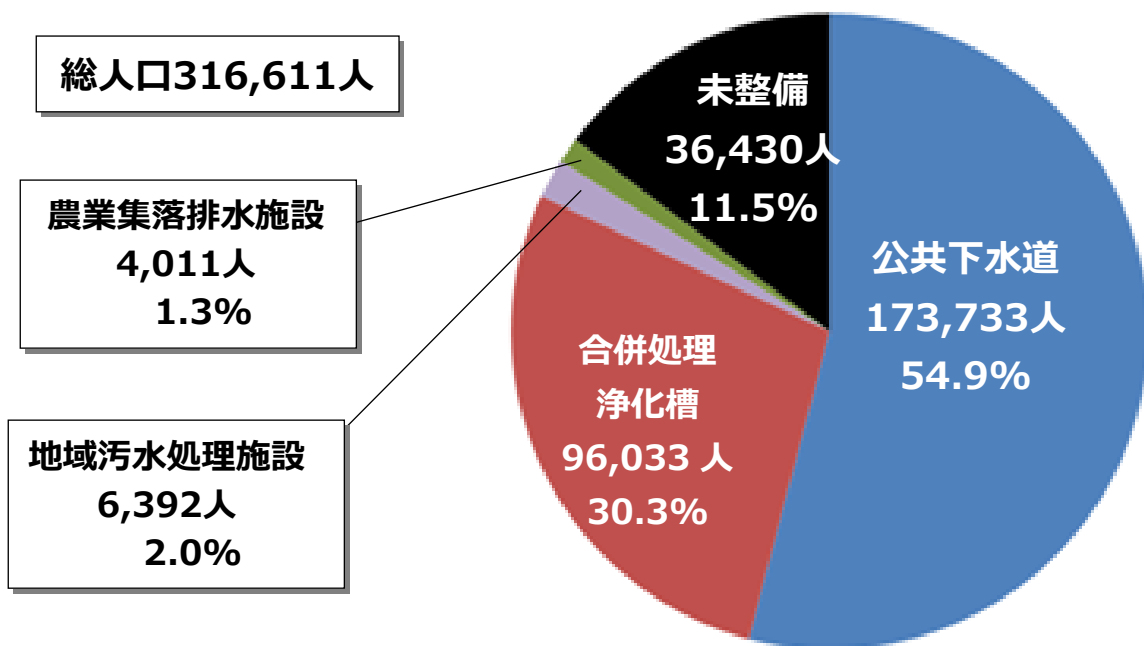


令和2年度末におけるいわき市の汚水処理人口普及率について

1 汚水処理人口普及率の推移



2 令和2年度末における行政人口に占める各生活排水処理施設の割合



※ 各処理施設の普及率は小数点第二の数値を四捨五入しているため、単純に合算すると合計と異なる場合があります。

令和2年度末のいわき市の汚水処理人口普及率は **88.5%** となっています。

本市の汚水処理人口普及率は、**全国平均 92.1%**（令和2年度末データ）と比較すると低い水準にあるため、今後も普及率向上に向けた取組みを推進していきます。

【用語解説】

汚水処理人口普及率	住民基本台帳人口のうち、公共下水道・農業集落排水施設・地域汚水処理施設の供用を開始している区域内の人口と合併処理浄化槽を利用している人口を合わせた割合。 生活排水処理施設がどの程度普及しているかを示す全国統一的な基準。
公共下水道	市街地の下水の排除を目的に市が管理・運営をおこなっている施設。生活排水（汚水）を処理する汚水管と雨水を処理する雨水管に分かれる。この表中の人口は生活排水（汚水）を処理できる区域内の人口を示している。
浄化槽	各家庭の敷地に埋設して、生活排水を処理する施設。トイレの排水だけを処理する単独処理浄化槽と台所やお風呂の排水まで処理する合併処理浄化槽があるが、汚水処理人口普及率の浄化槽人口では合併処理浄化槽のみを計上し、単独処理浄化槽は（一部の生活排水が未処理のため）未整備人口に計上。
地域汚水処理施設	民間事業者が開発した住宅団地などで行われている生活排水の集合処理施設。市内に5ヶ所あり、これらは市が民間事業者から帰属を受けて、管理運営を行っている。（汚水の処理方式は合併処理浄化槽と同じになるため、統計上は浄化槽に分類されるが、本市では表記上分かりやすくするため区分して計上。）
農業集落排水施設	農村集落を対象にした生活排水の集合処理施設。市内で6ヶ所が供用済。
未整備	単独処理浄化槽やくみ取り便槽を利用している人口。生活排水の一部が処理されていないため、未整備人口に計上。

【注 意】

汚水処理人口普及率のうち、公共下水道と農業集落排水施設は供用済区域内の人口のため、実際に接続している人口ではありません。

実際に接続している人口の割合（水洗化率）は、公共下水道が173,733人のうち164,453人（94.7%）、農業集落排水施設が4,011人のうち3,153人（78.6%）となっています。

